



最新情報をお届けいたします

2024年8月27日

～埼玉県内指定教習所では初の導入～ 企業向け研修に AI 教習車の導入を開始

1,500 台のトラックと 2,500 人超のドライバーで毎日 500 万人の食生活を支える物流インフラ企業、アサヒロジスティクス株式会社(埼玉県さいたま市大宮区/代表取締役社長 横塚 元樹)は、グループ会社の有限会社川越自動車学校(埼玉県川越市/代表取締役社長 横塚 元樹)にて、7月31日より AI 教習車を導入しました。AI 教習車は、センサーにより自車両、他車両の位置や動きを記録することができ、また車内カメラにより運転者の確認行動の有無を判断し、それらの情報を検定時の評価基準に基づいて評価するもので、埼玉県内の指定教習所では初の導入となります。また、運転レポートや動画により、受講者が自身の運転を客観的に確認することができます。川越自動車学校では、この AI 教習車を一般企業向けの安全運転研修やペーパードライバー講習に導入しております。

現在 AI 教習車は自動車運転免許取得のための教習には使用することができませんが、最先端の技術として前もって保持し、来る時代に備えることで、研修内容のさらなる充実と受け入れ体制の強化のみならず、将来的に懸念される高齢化による指導者不足への対応にもつながると考えております。

AI 教習車導入の背景と目的

川越自動車学校では、通常の運転免許証取得教習はもちろん、一般企業向けの安全運転研修やペーパードライバー講習は、交通安全の啓蒙の 1 つとして重要であると考え、如何にして講習の内容をより満足いくものにしていくかを、重要な課題と認識しております。AI 教習車の導入により、評価レポートの作成、受講者自身が不足している運転姿勢を動画にて振り返ることができるなど、研修内容をさらに充実させることが可能と考えました。

また、自動車教習所業界では、教習指導員の高齢化による将来的な指導員不足は、課題の 1 つとなっております。2021 年に全日本指定自動車教習所協会連合会が発表したところによると 10 年後には教習生に対して指導員が最大 35% 不足するとの試算がでております。現在は AI 教習車を自動車運転免許取得のための教習に使用することができませんが、前もって準備をしておくことで、将来的な指導員不足という課題への対応にもつながるものと考えております。

AI 教習車の特徴

AI 教習車は、AI や自動運転の技術を活用して自動車学校での技能教習をサポートするシステムを搭載した教習車を指します。

※引用元: AI 教習所株式会社

自動運転技術により、車両に後付けしたセンサーにて自車両、他車両の位置や情報を認識、記録することができます。また、車内にカメラを搭載し、運転者の目、鼻、耳などの動きから確認行動の有無を把握しています。その他、車速や舵角などの走行情報も取得しており、これらのデータから検定時の評価基準に基づいて評価する仕組みとなっています。教習終了後はレポートとして評価内容を確認するほか、動画にて、減点された項目について確認することが可能です。

運転する姿勢は、乗れば乗るほど我流になってくる傾向が高くなります。AI 教習車では、検定基準に沿って正確に評価することができ、そのレポートや運転動画を活用することで、受講者は普段の運転から忘れてしまっている確認行動や運転姿勢を見直す機会を提供することができます。

AI 教習車外観と
車両センサー

アサヒロジスティクス株式会社

TEL : 048-788-3901 (代) FAX : 048-788-3903

埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-10-17 シーノ大宮サウスウイング 16 階

URL : <https://www.asahilogistics.co.jp/>

担当 経営企画グループ 朝日・関口
Mail: asahipr@asahilogistics.co.jp
※お電話・Zoom 取材も承っております

